

シラチャ校だより

泰日協会学校シラチャ校
2023. 11. 30



新しい発想のもとでの授業改善やカリキュラム改善の進展

シラチャ日本人学校 校長 藤枝茂雄

1 はじめに

11月14日、シラチャ校の校舎の廊下を西から東へと吹き抜けていた風の雰囲気はそれまでと変わり、北からやや涼しく強い風が吹き込んでいた。本校のニオンディレクターから「この風が吹いたらよいよ乾季の始まりです」と教えられたが、その言葉どおり、翌々日にタイの气象台より「11月14日に雨季が明け乾季に入った」という発表があった。

小学部の学習で「秋」をテーマにしたものを取り扱う際には、「タイには秋がないので難しい」という話を聞くこともある。ただし、日本のようにはっきりとした四季はなくても、タイのタラート（マーケット）に出回る果物などには、それぞれの旬の時期があるようだ。

2 校外学習へのご協力へのお礼

2学期には、それぞれの学部や学年で職場体験や工場見学などの校外学習がさかんに実施されているが、それらすべてにおいて、現地の日系企業の方々をはじめ、多くのタイの在住の方々が生徒たちのために、一生懸命に協力してくださっている。本当にありがたく、感謝の気持ちでいっぱいである。

また、お世話になる側の本校の児童生徒もそのご厚意に応えるべく、積極的、意欲的に学習に取り組んでおり、非常に頼もしい限りである。



「竹細工」の校外学習（第4学年）
チョンブリー県 パナットニコム

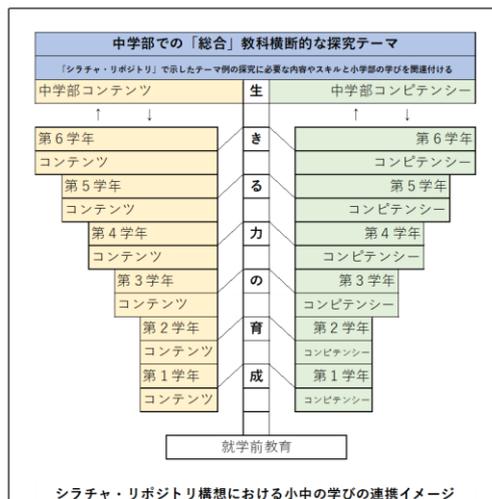
3 特色ある学校づくりのポイント

現在、本校では、次年度の教育課程を検討する時期に差し掛かっているが、現地の方々のご支援とご協力により与えていただいた学びの機会をさらに有効に活用すべく、以下のような理念や理論、実践を取り入れながら、次年度に向けての授業改善やカリキュラム改善を図っている。

(1) シラチャ・リポジトリ構想（本校独自のもの）による「総合的な学習の時間」における小中連携の高度化

総合的な学習の時間において、中学校最高学年の個別あるいは小グループによる理想的な探究成果物のイメージから、題材として取り扱うべきコンテンツ（内容や知識）とそのために活用すべきコンピテンシー（スキルや能力）を逆向き設計した実効性の高い小中連携を目指している。

イメージとしては、小学部第6学年の修学旅行で訪ねるアユタヤ（アユタヤ遺跡・日本人町跡）とカンチャナブリの泰緬鉄道の学年としての集団的な学びを、中学部では個別の小グループによる関連付けられた探究的な学びに発展させる。



探究の過程については、「世界遺産とは何か」「日本とタイの世界遺産認定の仕組みや保全の取組」「古都チェンマイや泰緬鉄道はどのようにしたら世界遺産に認定されるか」というような学びのスパイラルを作り上げる感じだろう。

同様に、第6学年のカンチャナブリの泰緬鉄道の発展的な学びの例を示すとしたならば、中学部では「捕虜とはどういう存在なのか」「戦時国際法とは」「旧日本軍のどのような点に問題があったのか」「タイにとって当時、最大の脅威は何だったのか」「タイはなぜ日本に戦後賠償を求めなかったのか」「戦場にかける橋の映画が描こうとしているものは何なのか」などを調べながら、それぞれの生徒自らが立てた問いに対する探究のスパイラルを発展させていくイメージになるだろう。

これらの小中連携の高度な学びの構造が適切に組み込まれることにより進化を遂げた次年度の各学部、及び各学年の学習成果物の最高到達点が今から楽しみである。

(2) 国際バカロレア教育プログラムのうち、小学校～中学校の年齢段階を対象としたプログラム（PYP・MYP）に含まれる理念を取り入れた指導の充実

国際バカロレア機構の示した教育プログラムのうち PYP（プライマリ・イヤーズ・プログラム）と MYP（ミドル・イヤーズ・プログラム）の理念を取り入れながら、国際社会で活躍できる人材に求められる資質能力の基礎を培うことを目指している。

※ 高校生を対象とする DP（ディプロマ・プログラム）を実施するものではない。

中学部の年齢段階の生徒を対象とした MYP（ミドル・イヤーズ・プログラム）については、地域の課題を自らが把握し、その改善に参画し行動する力を獲得するためのプロジェクト（コミュニティー・プロジェクト）の一環として、「シビックテック」（市民が端末から提供したデータを活用して独自データベースを作成するなどの活動を含む）の手法を導入した新しい総合的な学習の時間の創造を目指している。



シビックテックの活用イメージ：生徒がグーグルマイマップで作ったシラチャ野犬マップから地域の改善提案を行う

(3) ICT 活用に関するアイデアとセンスを生かした独創的な授業づくり

国の GIGA スクール構想の実施に対応する形で、シラチャ校では 2021 年 4 月からすべての児童生徒にクロームブックが貸与されている。したがって、クロームブックとそれに内蔵されているカメラや思考ツール機能を使って授業を行うことは、今や普通の姿であり、これからはアプリケーションソフトも含めて、どのように ICT（情報通信技術）を有効に活用していくかという「アイデア」と「センス」が求められる時代になるだろう。

前述のシビックテックもその活用アイデアの一つであるが、本校では 11 月 25 日の土曜参観授業の案内状に「ICT を活用した授業の取り組み実践」という一覧表を添付して、それぞれの授業の中での ICT 活用の手法を授業担当教員が公開する取組を実施した。

本校において現時点で比較的多く見られる独創的な ICT 活用としては、「作品に添付された QR コードを保護者の端末で読み取ることにより「動く掲示物」を見ることができるといった手法」や、「保護者が QR コードからグーグルフォームのアンケート欄にアクセスして発表に対するコメントを記入したり、自身が感じた評価を投票したりする方法」などがあげられる。

中学部では、パドレットという情報共有アプリケーションソフトを現地校との交流に活用する方法を試行している。具体的には、パドレットにより交流相手校の教員と交流日当日に予定されているゲームの概要やルールの説明などを事前に行うことで、現地での説明等に要する時間を節約する試みなどがそれにあたる。

ICT の導入によって、授業参観の形態も変わりつつある。11 月の土曜参観でも、中学部第 8 学年はスライドセッション方式により、時間の区切りを全体放送で統一しながら 4 会場 7 ラウンド（時間帯）の発表形態を採用し、発表者に対する保護者からの質問も受け付けた。

小学部第 4 学年の社会でもグループ単位で寄せた机ごとにクロームブックを用いて発表を行い、その後、グループ内での討議を自由に行うワールドカフェ方式を取り入れ、そのグループを取り巻く形で保護者が参観できるようにするなど、ますます学習する子どもたちと参観する保護者の距離が近くなっている様子が感じられるものとなっている。

コンピュータの操作やソフトウェアの活用については、特別に高い能力を持った子どもたちもいることから、ICT のユニークな使い方が提案される可能性は無限に広がっているといえるだろう。



1 教室内 2 会場のスライドセッション方式を取り入れ、保護者も質疑応答に参加できる形にした中学部の「総合的な学習」の成果物の「中間発表」の様子（第 8 学年）

以上の 3 つを、本校における新しい「授業改善・カリキュラム改善プロジェクト」の大きな柱として、シラチャ日本人学校の魅力を一層高めていきたいと考えている。

「校外学習 タイの伝統工芸 竹細工」

11月15日(水)・16日(木)にチョンブリー県パナットニコム市にある竹細工工房「プランニーさんの家」へ校外学習に行きました。パナットニコム市はシラチャから車で1時間程北西方向に走ったところにある町です。

4年生の社会科では、日本の伝統に関わる学習だけでなく、タイの伝統についても学習しています。今回訪ねた場所は、社会科の副教材「わたしたちのタイ シラチャ」にも載っており、国が進める OTOP(一村一品運動)の製品を作っている竹細工職人のプランニーさんの工房です。

事前学習では、竹細工について学習するとともに、材料の竹の基本的な編み方についても竹に見立てた紙を使って練習しました。

校外学習当日、子どもたちは工房で職人の方がお手本でさっと編むのを見て、「速い。」「すごく簡単そうにやってる。」と驚いた様子でした。子どもたちも実際に挑戦してみましたが、練習の紙とは感覚が違うので難しい部分もあったようでした。しかし、職人さんに教えてもらったり、友達同士助け合ったりして完成させることができました。

体験の後は、工房で作られた作品が飾られている展示スペースを見学しました。竹で編まれた高さ3メートルはあろうかと思われる巨大なシンハー像、身長程もあるガルダ像や仏像などに子どもたちは、「これ本当に竹でできてるの?」「近くで見たらやっぱりちゃんと編んでいる!」と、遠くから眺めたり、顔を近づけてじっくりと観察したりしていました。

最後にプランニーさんから「竹細工の技術を受け継ぐ人がいない。あなたたちも周りの人へ竹細工の素晴らしさを紹介してほしい。」といった話がありました。

学校に戻って、学習を振り返りました。その中で「材料の竹は水で湿らせると加工しやすくなった。」「細い竹でも、上手に編むと大きなものが作れることに驚いた。」「日本の伝統工芸も、タイの伝統工芸も受け継ぐ人が減っていることが問題だと分かった。」などと、体験したこと、観察したこと、聞いたことを振り返りながらまとめることができました。

今回の学習を発展させて、竹細工以外のタイの伝統工芸についても調べることになりました。

文責： 牧野・小島





今年度着任された先生方の文章を
順番に紹介していきます。
今回は NET の Theodric 先生です。

My name is Theodric Ek Inthaphom. I was born in Fort Worth, Texas in America. I just turned 34 years old. My mother is Chinese from Thailand and my father is Laotian. I have one older brother. I grew up in America and did all my studies there. After I graduated from university, I decided to come teach in Thailand for a few years. I enjoyed Thailand so much that I have now been here for over 10 years. Growing up I was almost always reading; my favorite books are fantasy books. When I wasn't reading, I was playing games with my brother and best friend. I grew up playing Pokémon and Final Fantasy. As I get older, I still enjoy reading and playing games. But, now in my free time, I also travel, write, and study Japanese. I have also been interested in Japanese culture since I was young. My favorite manga of all time is One Piece. I wish I could be as free as Luffy! I think Oda Sensei is one of the greatest writers off all time. My favorite type of food is also Japanese. Even here in Thailand I prefer to find Japanese food to eat. My last hobby is exercising. I enjoy exercising and try my best to stay healthy and fit. I like staying active and doing things outside. It's a pleasure to meet all of you and make your acquaintance!

私の名前はセオドリック・エク・インタフォームです。アメリカのテキサス州フォートワースで生まれ、今年で 34 歳になりました。母はタイ出身の中国人で、父はラオス人です。兄弟は兄が 1 人います。私はアメリカで育ち、そこで全ての教育を受けました。大学を卒業後、数年間タイで教壇に立とうと決心して来タイしましたが、そのままタイの魅力に惹かれ、すでに 10 年以上ここに住んでいます。子どもの頃から、ほとんどの時間を読書に費やしてきました。特にファンタジー小説が大好きです。読書以外の時間には、兄や親友とゲームを楽しんでいました。ポケモンやファイナルファンタジーをしながら育ちました。大人になった今でも読書やゲームを楽しんでいます。また、最近では自由時間に旅行したり、執筆したり、日本語の勉強をしたりしています。幼い頃から日本文化に興味があり、一番好きな漫画は「ワンピース」です。ルフィのように自由でありたいと思っています。尾田栄一郎先生は史上最高の作家の一人だと思っています。食事に関しても、日本食が大好きで、タイにいても日本料理を探して食べることが多いです。趣味の一つに運動があり、健康な状態を保つよう心がけています。外で何かをすることが好きです。皆さんにお会いできたことを光栄に思います。



人権集会

1日(金)の5時間目には、全校児童生徒が参加する人権集会を実施します。この集会では、各学年から選ばれた代表児童生徒たちが、日頃の学習で得た人権に関する知識や考えを発表します。この集会を通じて、児童生徒たちが人権についての理解を深め、人権意識の向上に繋がることを願っています。

中学部交流会

6日(水)に中学部の生徒は、交流先であるスッカポット校を訪れ、交流学習会を行います。この日は、タイと日本の文化を紹介し合い、様々な体験活動に取り組む他、スポーツ交流やアイスブレイクの時間も設けられています。英語やタイ語を駆使して、日本とタイの友好の輪を広げましょう。

小5 臨海学校

7日(木)から、1泊2日の日程で、小学部5年生がジャンタプリ県に臨海学校へ行きます。シラチャ校では、タイの気候を生かし、年間を通して水泳の授業を行っています。是非、ジャンタプリのきれいな海で、これまでの練習の成果を発揮しましょう。

中学部生徒会役員選挙

12日(火)は、中学部で生徒会役員選挙が行われます。これまでシラチャ校の最高学年として、学校全体を引っ張ってきてくれた9年生から、8年生、7年生へとバトンが引き継がれます。生徒会は、中学部の生徒全員で組織され、運営しています。より良い学校を目指し、みんなで力を合わせていきましょう。

編入・退学時のプレゼントについて

例年、お子さんが退学されることになった保護者の方から「お世話になった学級のお友達に教室でプレゼントを渡して良いですか?」という質問が学校に寄せられます。多くの子どもが編入したり、退学したりしていくのは日本人学校の宿命です。お気持ちは理解できますが、一度それを認めると、プレゼントを交換することがお子さんの編入・退学時の慣例になってしまいます。編入・退学時の学校でのプレゼントの受け渡しは行わないよう、学校としては保護者の方々にもお願いをしております。

保護者の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

日 曜	児童・生徒の予定	バス時刻	
1日(金)	個別面談(小)三者面談(中) 全校5時間下校 人権集会:5校時	14:20 P1-6 M1-3	★
2日(土)			
3日(日)			
4日(月)	全校5時間授業	14:20 P1-6 M1-3	★
5日(火)	前国王ラーマ9世誕生日		
6日(水)	中学部交流会	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3	
7日(木)	5年臨海学校① 放課後指導2年	14:20 P1-2 15:25 P3.4.6 M1-3	★
8日(金)	5年臨海学校② 【小:学級だより】	14:20 P1-2 15:25 P3.4.6 M1-3	★
9日(土)			
10日(日)	ラッタタマヌーンデー(憲法記念日)		
11日(月)	ラッタタマヌーンデー振替		
12日(火)	生徒会役員選挙 放課後指導1年	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3	
13日(水)	購買(注文票配布日) 1-6年縦割り班(弁当&遊び) 9年保育実習	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3	
14日(木)	購買(注文票提出日) 放課後指導2年	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3	
15日(金)	音楽集会 小クラブ	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3	
16日(土)			
17日(日)			
18日(月)	小委員会 放課後指導3年	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3	
19日(火)	中委員会 放課後指導1年	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3	
20日(水)		14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3	
21日(木)	放課後指導2年	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3	
22日(金)	2学期終業式 中学部生徒集会【小:学級だより】【中:学級だより】【学年だより】【学校だより】	14:20 P1-6 M1-3	★
23日(土)			
24日(日)			
25日(月)			
26日(火)			
27日(水)			
28日(木)			
29日(金)	年末休業		
30日(土)	年始休業		
31日(日)	年末休業 大晦日		

★は特別バスです。通常の下校バスと時刻が違うときについています。

